

生命（いのち）の安全教育 動画を使用した授業展開例

小学校（高学年）「心と体の安全」

	学習内容	・予想される児童の反応	○留意点 *支援
導入	1. 自分の体は自分だけの大切なものであることを理解するとともに、「他の人の体」も大切であることを理解する。	・手を洗う、転ばないように気をつける、マスクをつける、など。	○自分の体を大切にするために普段していることを考えさせる。 *他の人の体も大切であることを助言する。
展開	2 本時のめあての確認をする。		*本時のめあてを確認した後に、本時の学習をより意識できるように動画教材を視聴する。
	自分や他の人の体を大切にするためにできることを考えよう		
	3. 「自分だけの大切なところ」や「他の人の体」も大切なことを知る。	・むね、おしりなど。	*保健体育の時間で学んだ「からだ」の指導内容を児童に想起させる。 ○体全てが大切なところであることを伝える。 ○動画視聴後、特に下着で隠れているところは大切であり、見せたり、触らせたりしてはいけないことを改めて伝える。 ○ほかの人の水着でかくれるところも大切に、見たり、さわったりしないようにすることを理解させる。 *ここまでの学習をより意識できるように動画教材を視聴する。
4. 自分とほかの人を守るためのルールがあることを知る。	・強く押される、急にさわられる。	*びっくりするのはどのような状況か、動画を視聴する。 *ほかの人の体も、自分の体と同じように大切にされていやなことは、ほかの人にもしないことを理解させる。 *動画の視聴から、友だち同士でも体と心を傷つけることはやってはいけないことを理解させる。 *友だちがいやだと言わなくても、本	

			<p>当はいやだと思っていることもあるかもしれないことを理解させる。</p> <p>○動画視聴後、自分や友だちの体や心を傷つけるような行為はどのようなことか考えさせる。</p> <p>* 動画視聴の前、あるいは後に、ワークシートを用い、自分や他の人の体や心を守るためのルールを考え、発表する。</p>
<p>心と体を守るためのルールについて考える</p>			
	<p>5. 「体のきより感」「心のきより感」について考える。</p>	<p>・「今日は用事があっていけない、と断る」など。</p>	<p>* 人との距離感には、「体の距離感」と「心の距離感」のふたつがあることを理解する。</p> <p>* 体の距離感というのは、自分の体は自分のものだから、自分とほかの人との距離は自分で決めていい、ということを理解する</p> <p>* 親しくても、近すぎるといやだなと思うときは、すぐに離れてよいこと、友だちがさわられるのを嫌がったら、すぐにやめることが大切なことを理解する。</p> <p>○動画の視聴により、心と体の距離感について理解を深める。</p> <p>* 自分の気持ちや考え方は自分のものだから、どんな気持ちをもって、どんな考え方をするかは自分で決めていいということを理解する。</p> <p>○ワークシート等を用い、もし自分が友だちに遊ぼうと誘って断られたらどう思うか、断れなさそうなお友だちがいたらどうするか、考えさせる。</p>
	<p>6. 人との距離感が守られない時にどうしたらよいか考える。</p>		<p>* 距離感が守られない時にどうすればよいか、動画を視聴し考えさせる。</p> <p>* 児童が考えた方法以外の対処法を伝える。</p>

			<p>走る、さけぶ、安全なところに飛び込む、はっきり・きっぱり断る、など</p> <p>* 人との距離感が守られないときは、「『いやだ!』『やめて!』『だめ!』とはっきり断る」、「そこから逃げる」「あんしんできる大人に伝える」ことを体験させる。</p> <p>* ここまでの学習をより意識できるように動画教材を視聴する。</p>
	<p>7. SNSを使うときに気をつけることについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSで知り合った人とは会わない ・ 大人の人に相談する 	<p>○ SNSを使うときに気をつけることは、やりとりしている相手が信頼できる人かどうかを考えるのが大切であることを、動画を通して伝える。</p> <p>* SNSでこわい思いをしそうになったときはどうしたらいいか考えさせる。</p> <p>○ こわい思いをしそうになったときは、「イヤだ」と相手に言う、その場をはなれる、安心できる大人に相談する、写真を送ってしまってもすぐに安心できる大人に相談することを伝える。</p>
<p>心と体を守るためにSNSの安全な使い方について考えよう</p>			
まとめ	<p>自分と相手を大切にし、よりよい関係であるために、どうしたらいいのか、考え発表する。</p>		<p>* 本時のめあてに迫るためにもう一度振り返る。</p>